

■ 実証実験の目的

▶ 名古屋交通計画 2030（抜粋）

- ・ 地域主体のまちづくりの推進
- ・ 公共交通空白地への移動手段の導入

→地域のニーズに応じた移動手段を導入し、継続的に運行していくために、実証実験を踏まえた行政支援のあり方を検討し、新たな**交通支援制度**を構築

▶ 西福田学区の選定理由

- ・ 交通支援制度検討のため、まずは**西福田学区をモデルケース**に新たな移動手段の導入を検討・実施

→西福田学区は公共交通空白地であり高齢化率が高い
地域が団体を立ち上げ、交通課題解決に向けた取り組みを実施している

▶ 現在の取り組み状況

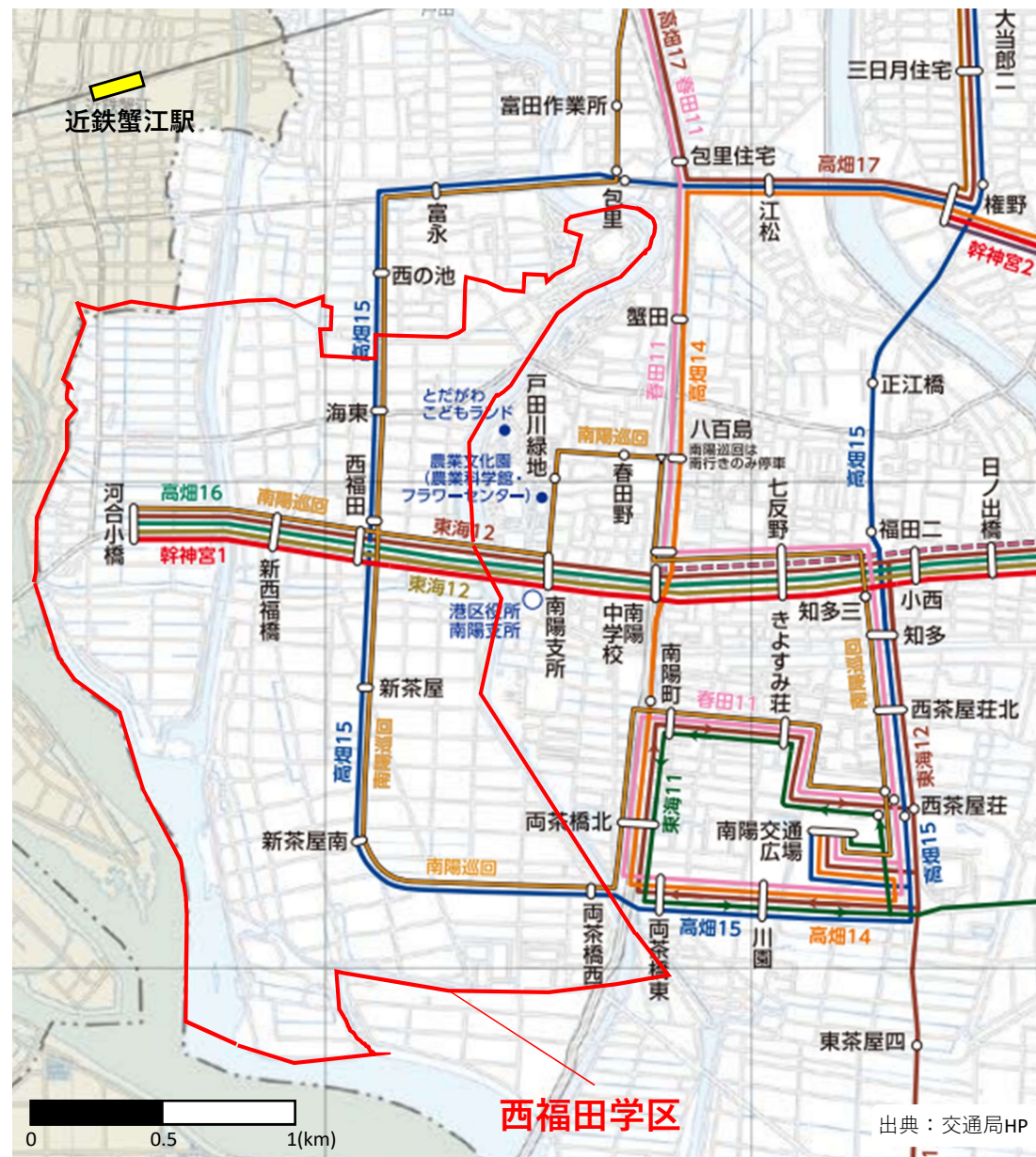
- ・ 地域の多様なニーズを把握・整理し、持続可能な運行にする必要があるため、名古屋大学（未来社会創造機構）・名鉄（株）・名鉄タクシーHD（株）等との**共創**により、各分野の知見を活かして行い、交通支援制度の検討に反映



西福田学区の様子

■西福田学区の基礎データ

都市計画区域	市街化調整区域	—
面積	4.4 km ²	R5 統計 年鑑
世帯数	1,496世帯	
人口	4,235人	
高齢化率	約42%	R2 国勢 調査
こども率	約5.4%	
市バス路線	幹神宮1（熱田区役所方面） ▶上り25本、下り25本 高畑15（八田方面） ▶上り21本、下り20本 高畑16（高畑方面） ▶上り28本、下り28本 東海12（六番町，港区役所方面） ▶上り40本、下り39本 南陽巡回（南陽交通広場、戸田荘、河合小橋方面） ▶9本 ※全て平日の運行本数	—



■ これまでの取り組み

R1.5	西福田さいこうプロジェクト推進協議会を設立 →まちづくりに関する課題等を議論・検討
R5.5	移動に関する第1回アンケート調査 (近隣移動の現状を調査)
R6.3	移動に関する第2回アンケート調査 (第1回アンケートの深堀)
R6.4 ～	アンケート調査を踏まえた運行計画の検討
R6.7	運行計画(案)を作成
R6.7 ～	関係機関協議を開始

地域打合せは令和5年4月から令和6年7月中旬までに
28回、うち名古屋市は**15回**参加

■ アンケート調査の概要

(1)第1回アンケート(R5.5)

日常生活における近隣移動の現状を調査

- ・学区に在住の中学生以上を対象
- ・各町内会長(11町内会)が調査票を配布・回収
- ・回収率は85.7%(2572票/3000枚配布)
- ・目的施設、頻度、時間帯、利用交通手段等を各人それぞれ最大5パターン調査
(15問、うち3問は属性調査)

(2)第2回アンケート(R6.3)

第1回アンケートを深堀り

- ・各町内会の班代表・学区連絡協議会担当者を対象
- ・西福田さいこうプロジェクトが配布・回収
- ・回収率は90.1%(91票/101枚配布)
- ・西福田学区及び近隣学区での日常的な移動概要・新たな移動手段に求めるサービス水準を調査
(10問、うち1問は属性調査)

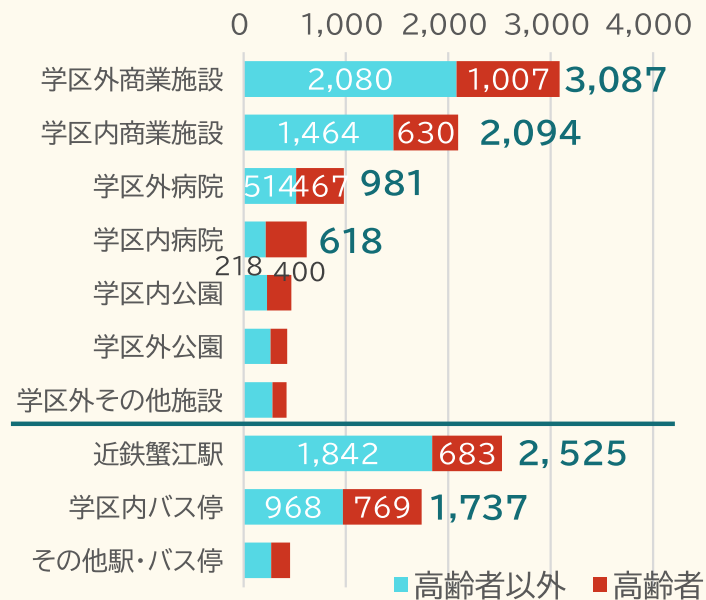


図1 日常の移動における目的施設の回答数（上位10位）

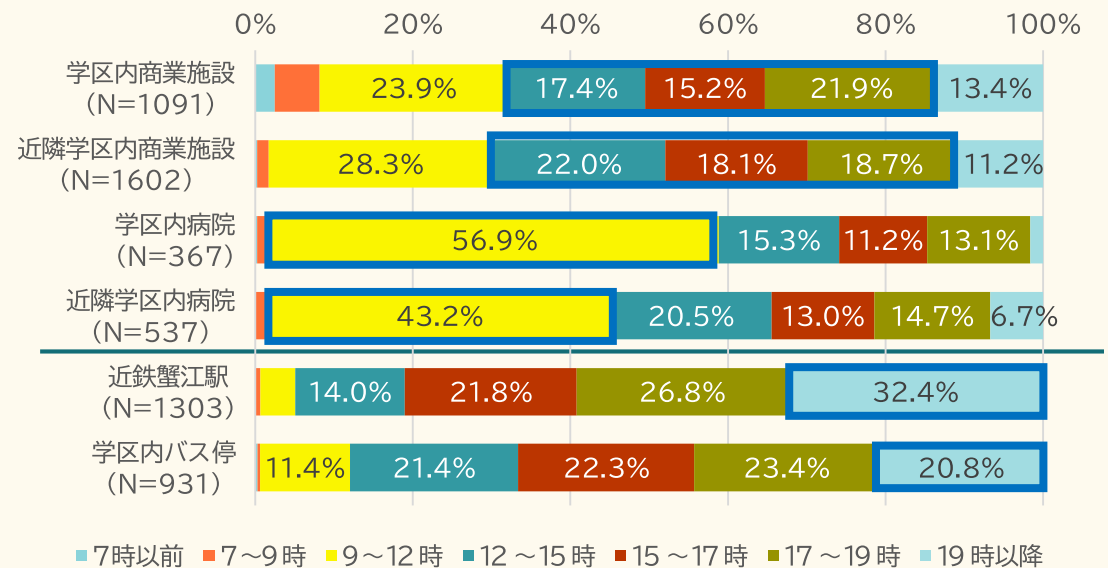


図3 目的地から帰宅する時間帯

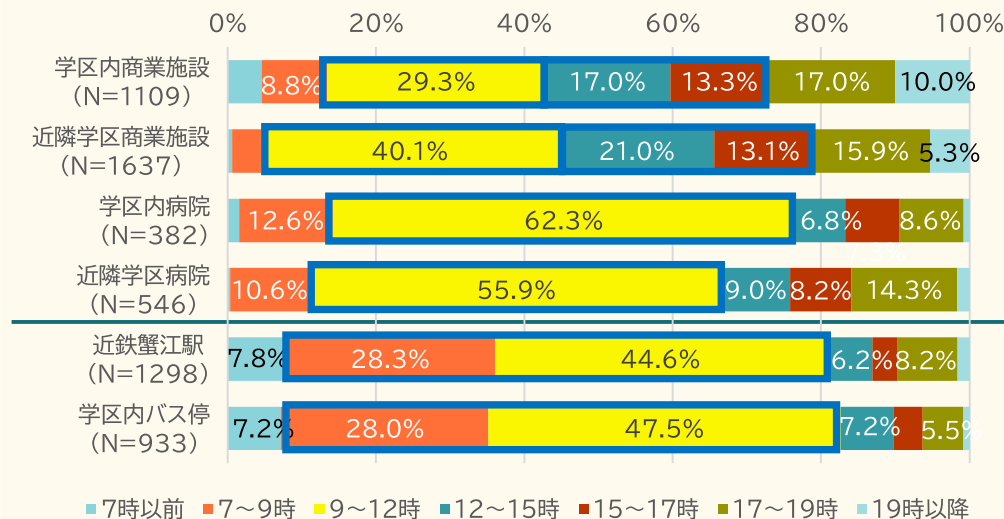


図2 目的地へ出発する時間帯

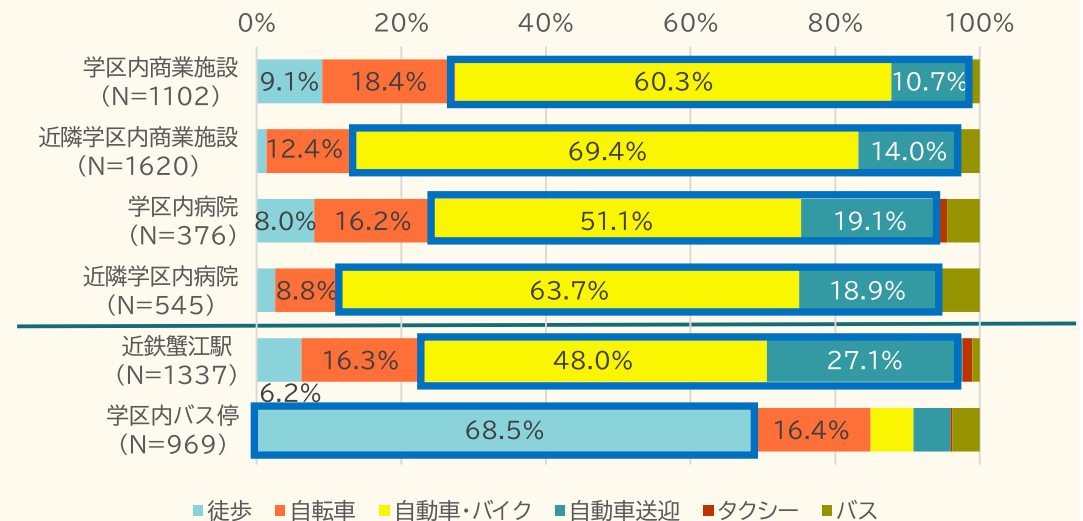
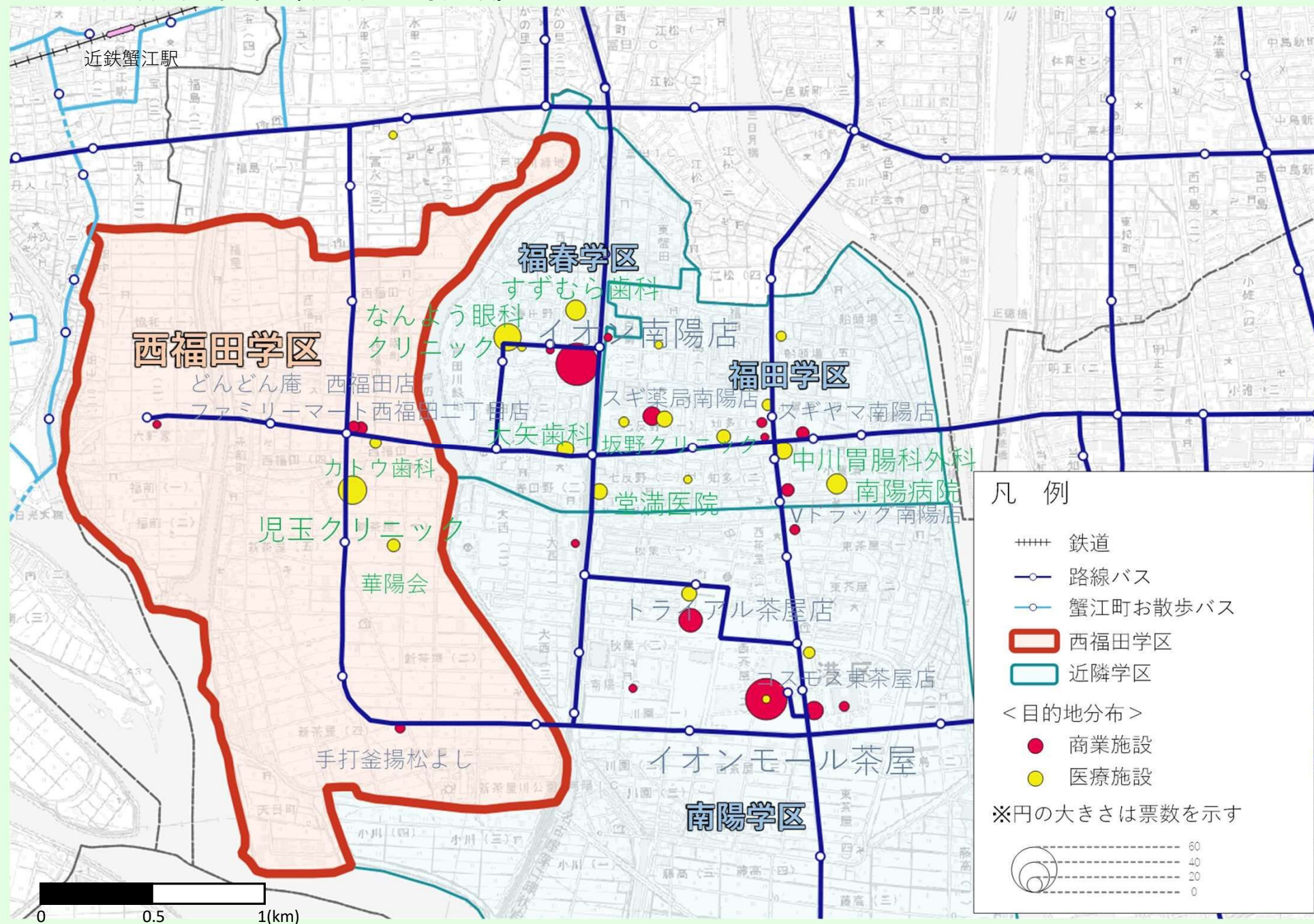


図4 目的地への移動における主な利用交通手段

目的地施設の分布（商業施設・医療施設）



■新しい移動手段の決定

アンケート 調査結果	①<u>日中は生活施設</u>（商業施設、病院）、<u>朝・夕は交通施設</u>（近鉄蟹江駅、学区内バス停）の移動が多い ②目的地が学区内外問わず<u>面的に点在</u> ③移動手段について自動車送迎も一定比率を確認、<u>移動に送迎が必要となる人の存在</u>
---------------	--



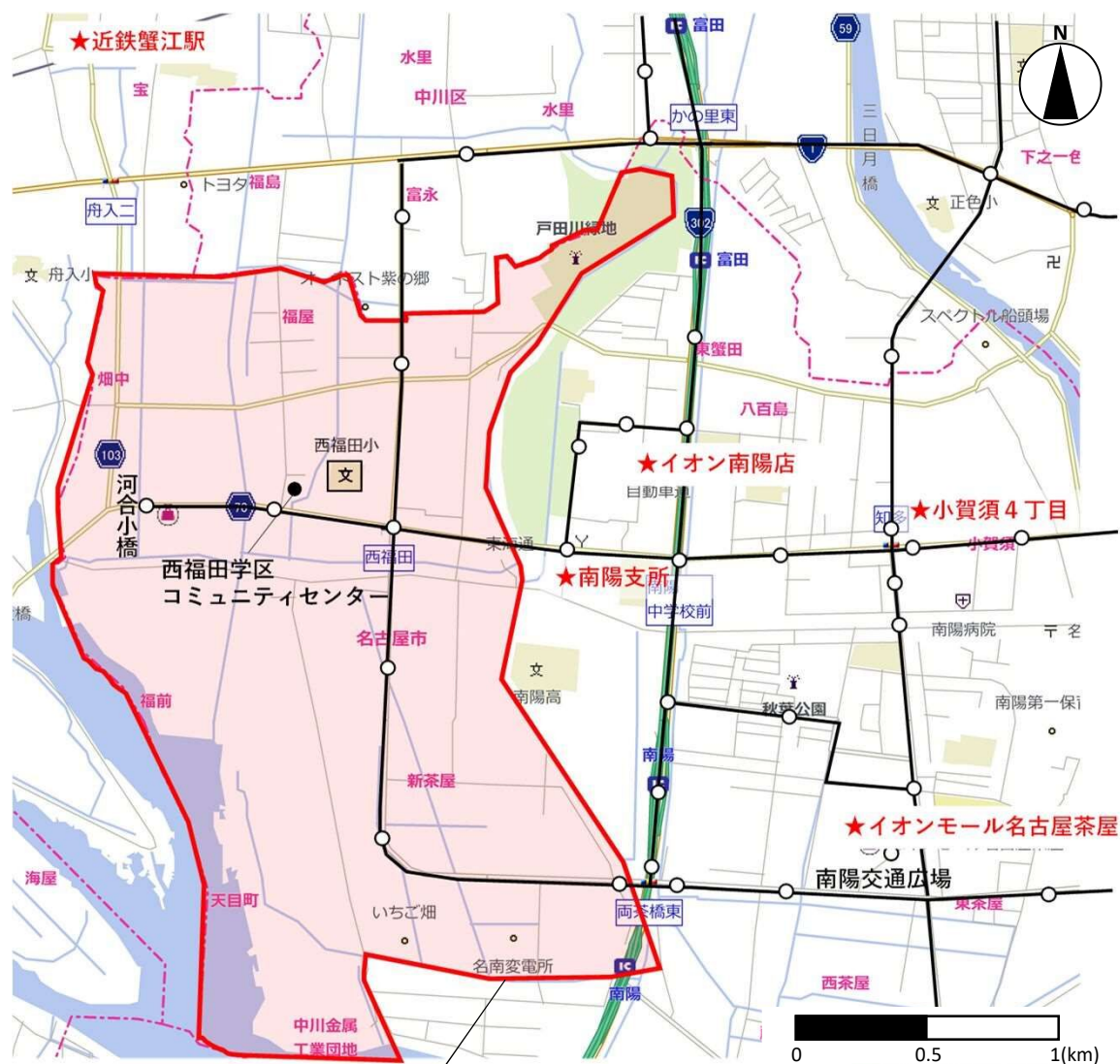
コミュニティバス	・発着地が点在する西福田学区では適さない ・R6実証実験の結果次第では、コミュニティバスに変更する可能性がある（特定の方向、時間に需要の集中がある場合）	△
デマンド交通	・発着地が点在する西福田学区において、移動ニーズに即した柔軟な運行ができる ・R6実証実験の結果次第では、より半デマンド化する可能性がある（特定の方向、時間に需要の一定パターンがある場合）	○
空きタクシー活用	・まずは、地域内移動の利用量を把握する必要がある ・R6実証実験の結果次第では、タクシー営業所が近い西福田学区において採用する可能性がある（利用が分散しており、かつ少数である場合）	△
タクシーチケット 交付	・地域内移動に利用されない可能性がある（長距離タクシー移動の足しにされる可能性がある）	×

■事業計画（案）

事業の名称	西福田学区デマンド交通実証実験
事業主体	西福田さいこうプロジェクト推進協議会（地域団体）、名古屋市、東海国立大学機構名古屋大学、名古屋鉄道(株)、名鉄タクシーホールディングス(株)などからなる共創グループ
運行事業者	その１：名鉄交通第三株式会社（中川区東起町） 代表者 浅野丈夫 その２：名古屋近鉄タクシー株式会社（中区栄） 代表者 山根真哉
運行形態	乗合タクシー（区域運行型）
運行期間	令和６年１１月中旬頃から３カ月間 平日、土、日、祝
運行時間	８時から１８時まで
事業許可	道路運送法第２１条
利用対象者	限定しない
運行車両	ワゴン型車両（定員９名）１両 ※応援車両のJPNタクシー４両及びクラウンセダン１両（いずれも定員４名）は既存乗用事業と兼用
運行区域	西福田学区、近鉄蟹江駅、南陽交通広場、イオン南陽店、港区役所南陽支所、ファミリーマート名古屋港南陽店…〔次頁〕
停留所	４４か所程度
運行回数	アプリまたは電話による予約に応じて運行
運賃	一乗車３００円均一
支払方法	現金または交通系ICによる現地払い ※応援車両は現金のみ

■ 運行区域

西福田学区及び学区外目的地（5箇所）



学区内乗降場所は別紙1 参照

: 西福田学区
★ : 学区外目的地（5箇所）

・ 目的地例

近鉄蟹江駅（近鉄タクシー蟹江営業所内）



西福田学区コミュニティセンター



イオンモール名古屋茶屋（南陽交通広場内）



■ デマンド交通の主な利用ルール

- ・市バス路線沿い（半径200mを目安）の平行移動はできない（発着地の両方を市バス沿線沿いに設定することはできない）
- ・学区外相互の移動はできない（発着地のいずれかは学区内の設定を必須）
- ・利用は1乗車1目的地とする（車両の待機等は不可）
- ・敬老パス等の利用割引はなし（今後の検討）

■ 利用促進にかかる取り組み（予定）

- ・ チラシ、パンフレットを作成し配布
- ・ 事前に町内会毎に利用方法等の説明会を実施
- ・ 利用促進券を各世帯に配布
- ・ はじめての実証実験であり、分かりやすさ向上のため、乗降場所に簡易な標識（全て民地）を設置

→まずは**乗ってもらう**、**知ってもらう**！

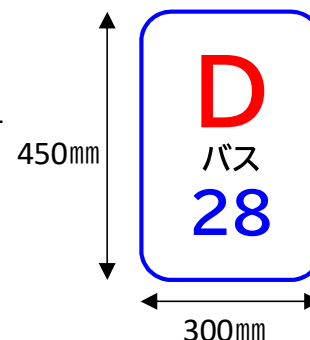
利用データや実証期間中に実施するアンケート調査から、

- ・ 過年度アンケート調査で把握した地域ニーズに対応しており、デマンド交通が適しているか
- ・ 運賃（300円均一）が妥当であるか

を確認



乗降場所標識イメージ



- ・ 民地フェンス等に括り付け等を予定
→詳細は現地調査後決定
- ・ 標識の維持管理等は西福田さいこうプロジェクト推進協議会が行う

■スケジュール

